

真空熱間プレス炉 加熱真空プレス

商品番号: KT-VHP



前書き

真空熱間プレス炉の利点を発見してください！高熱・高圧下で高密度耐火金属・化合物、セラミックス、複合材料を製造します。

詳細を学ぶ

仕様	電気炉は垂直炉体（圧力範囲5～800T、加圧方式は一方方向と二方向に分かれる）で加熱されます。給排方法には、上部と側面があります。、電子制御システムなどのコンポーネント。
炉殻	炉殻は二重層水冷構造で、内層は厳密に研磨されたステンレス鋼、外層はステンレス鋼サンドブラストマット処理または炭素鋼防錆処理、二重層間に水冷が流れており、炉殻は60℃を超えません。炉蓋は機械式機構で持ち上げられ、手動で後方に回転させて開きます（一方方向圧力）、炉蓋にはロック装置が取り付けられています。
炉側	炉側には観察窓、熱電対自動出入機構、赤外線温度計、水冷電極（三相）が装備されています。熱電セルの自動出入りは電動で、高温・低温の自動切り替えが可能です。炉の異常温度による事故を防ぐため、炉側には過熱保護熱電対もあります。
発熱体	発熱体は黒鉛管（またはモリブデン線）製で、単相および三相加熱に分けることができます。発熱体の合理的な設計により、炉内温度の均一性が向上します。
断熱層	断熱層は黒鉛（または黒鉛紙）、炭素フェルトなどで作られており、断熱性能が高く、独自の構造設計により真空引き時間が短縮されます。モリブデン線熱間プレス炉の断熱層は金属反射スクリーンです。
真空システム	真空システムは、2段真空ポンプ、油拡散ポンプ1台、メカニカルポンプ1台で構成され、高真空と低真空を完成させます。真空バルブは当社が設計・製造した高真空パッフルバルブを採用しており、デジタル表示真空計とPLCによる高真空・低真空の自動切り替えと制御を実現できます。
電気制御システムの主回路	電気制御システムの主回路は低電圧・大電流入力です。電気制御キャビネットは、Rittalの標準キャビネットを参考に作られています。ヒューマンインターフェース設計です。制御パネルにはグラフィックシミュレーション画面とボタンがあります。操作は直感的で便利です。温度と圧力の制御は、輸入ブランドのプログラムで制御されます。計器、キャビネットにはPLCが装備されており、焼結プロセスはプリセットプログラムの近くで自動的に完了します。制御システムには、断水、過熱、過電流、熱電対自動切り替え失敗などの異常現象に対する音と光のアラーム機能があります。

作業温度	1500℃ / 2200℃
発熱体	モリブデン/黒鉛
作業圧力	10-400T
プレス距離	100-200mm
真空圧力	6x10 ⁻³ Pa

有効作業領域直径範囲	90-600mm
有効作業領域直径範囲	120-600mm